

## 創立第15周年を迎えて

日本表面科学会 第8期 会長 馬場 宣良

会員の皆様 本日ここに第15周年を迎えて誠にめでとうございます。思えばつい先日第10周年の記念事業を国際シンポジウムという形で行いましたことはいまだに記憶に新しいことです。学会の顔であります会誌“表面科学”も創立当時は季刊の年4冊で、それも厚さの薄い会誌であったものが、やがては年6冊から10冊へと増加し今日に至っております。その間臨時増刊号の発行も何回か行われまして、事実上は年7冊とか、11冊といった刊行実績をもってまいりました。もうこのへんで年12冊のMonthly化とする実力も十分備えてきたと思えます。

そこで、このたび第15周年日から長年の懸案でありましたMonthly化を実行いたすことになりました。この記念すべきトップを飾る第16巻1号には各学会の代表からお祝詞をはじめ記念特集号には相応しい企画を用意いたしております。

昨今の厳しい経済情勢の中で本学会はこのMonthly化のために創立以来初めての会費値上げをさせていただきました。会員諸氏には予定外のご出費をお願いいたしましたわけですが、皆様方の温かいご理解とご協力をいただき、おかげさまで会の運営も順調に進行いたしております。本会の役員および事務局員共に心を引き締め今後一層の努力を重ねて皆様方のご要望にお応えいたしたいと思っております。

本学会は物理、化学、生物、機械、電気、など多くの領域の基礎から応用まで非常に幅広い分野をカバーする境界領域の学会として日本ではあまり例を見ない存在であると思えます。したがって本学会の講演大会、あるいは学会誌の内容は非常に幅が広く、多くの分野の方々にお役に立っていることと思えます。この15周年をてこにしますます発展していくことを念願して会長の挨拶といたしたいと思います。